報道機関各位

問い合わせ先:社会教育課 文化財係
担　当　者:猿渡・瓜生
連　絡　先:0944-32-9183

現存する国内唯一の舞を披露

国指定重要無形民俗文化財「大江の幸若舞」奉納上演

みやま市瀬高町大江に伝承されている「幸若舞」は、公式には「大頭流幸若舞（だいかしらりゅうこうわかまい）」と言い、現存する唯一の幸若舞として高く評価され、昭和51年に国指定重要無形民俗文化財に指定されています。現在は、毎年1月20日に五穀豊穣を祈願して、「幸若舞保存会」の人々によって奉納上演されます。

【幸若舞とは】
幸若舞は、室町時代に発祥し、戦国大名に庇護されました。特に、織田信長をはじめ豊臣秀吉・徳川家康など、時の権力者が好みました。しかし、幕末になると、時代の流れや趣味の変化などにつれて次第に衰え、その発祥地の福井県丹生郡朝日町（はにゅうぐんあさひちょう）（現越前町（えちぜんちょう））でも明治維新後に絶えました。福岡県みやま市瀬高町大江地区では、「大江のめえ」とよばれて昔の姿をそのままに伝えています。

■日　時　　令和５年１月20日（金）　開会式１１：３０～、上演１２：００～

■場　所　　みやま市瀬高町　大江天満神社境内「舞堂」

■演　目

曲　　目	上　演　者	上演予定時刻
濱　　出	小学５年生（３名）	１２：００～１２：２５
日　本　記	小学６年生（３名）	１２：３０～１２：５０
安　　宅（下）	成　　人（３名）	１３：００～１３：３０
敦　　盛（下）	成　　人（３名）	１３：４０～１４：００
高　　館（下）	成　　人（３名）	１４：１０～１４：４５

■主　催　　大江幸若舞保存会